

平成18年度  
社団法人西京医師会 症例報告会  
抄 録 集

日 時 : 平成18年7月9日(日)午後4時

場 所 : リーガロイヤルホテル京都

共 催 : 社団法人西京医師会  
杏林製薬株式会社



〈一般演題 9例〉 〈臨床演題 3例〉

座長 演題1～4 : よしおかこどもクリニック  
吉岡 博 先生

1. 未破裂脳動脈瘤の経過中にくも膜下出血をきたした6例  
シミズ病院 脳神経外科  
田中英夫、佐藤学、今高清晴、大山憲治、吉田享司、渡辺敦彦、清水幸夫 各先生
2. 当院におけるステント内再狭窄病変に対する薬剤溶出性ステントによる治療成績  
三菱京都病院 心臓内科  
横松孝史、吉田章、三木真司、溝口哲、河野裕、別府浩毅、只野雄飛 各先生
3. 生物学的製剤(エタネルセプト)による関節リウマチの治療経験  
武田整形外科医院  
武田信巳 先生
4. 人工呼吸管理を要した早期乳児感染症2例  
京都桂病院 小児科  
片岡昭浩、柴田実千代、武内治郎、浅田純子、若園吉裕 各先生

座長 演題5～8 : 京都桂病院 院長  
野口雅滋 先生

5. 外科的冠動脈再建における心拍動下冠動脈バイパス術の導入  
三菱京都病院 心臓血管外科  
中島博之、板垣忍、津丸真一、辻井英治、村田真司 各先生
6. 総胆管に発生した有茎性のpapillary adenoma の1例  
洛西ニュータウン病院 外科  
中本博之、松浦節、箕浦俊之 各先生
7. 術前診断に苦慮した腸閉塞の2例  
西京都病院 内科  
清水健太郎、庭川光行、岡本敏彦、奥田和美、福永隆文、梶並稔正 各先生  
同 外科  
宇治祥隆、三宅亨、吉岡豊一 各先生
8. 当院における低体温療法の治療成績  
三菱京都病院 心臓内科  
別府浩毅、吉田章、三木真司、溝口哲、河野裕、横松孝史、只野雄飛 各先生

座長 演題9～12 : 三菱京都病院  
吉田 章 先生

9. 当施設に於ける頭頸部血管病変に対するステント支援下手術  
京都桂病院 脳神経外科  
大脇久敬 先生
10. 多発性内分泌腺腫を合併した慢性腎不全の1例  
洛西ニュータウン病院 循環器科  
城ひろみ、高島啓文、吉田衣江、湯山令輔、高山康夫 各先生
11. 当院における肺腎症候群の治療成績  
西京都病院 外科  
三宅亨、宇治祥隆、吉岡豊一 各先生
12. ガンマナイフ -2005年総計441例の検討-  
洛西シミズ病院 ガンマナイフセンター  
佐藤学、清水幸夫 各先生

### 3. 生物学的製剤（エタネルセプト）による 関節リウマチの治療経験

武田整形外科医院  
武田 信巳



関節リウマチ（RA）の治療成績は近年、生物学的製剤（以下生物製剤）の登場により飛躍的に向上しつつある。当院もMTXを始め各DMARDsにて、約50例のRA治療を行っているが、その内5例の難治例に昨年3月に本邦でも導入された生物製剤であるエタネルセプトを使用する機会があったので、その短期成績と個人医院での最新のRA治療における有用性と問題点につき報告する。対象は5例で全例女性、平均年齢59歳、病期は全例ステージⅢ、分類は1例がクラス3で4例が2

である。罹病期間は平均約5年で過去に薬物療法を施行した症例であった。方法は活動性結核・RA肺等を否定した後、MTX併用にて、週2回エタネルセプトの皮下注を平均9ヶ月間行い、臨床検査とDAS28による臨床症候改善度で治療成績を評価した。結果は前者においてはRF以外の炎症指標で著明な改善がみられ、後者はEULAR改善基準ではgood responseで、重篤な副作用はなく患者の満足度も高かった。

### 4. 人工呼吸管理を要した早期乳児感染症2例 (本院での早期乳児感染症の集計もあわせて報告)

京都桂病院 小児科

片岡 昭浩、柴田実千代、武内 治郎、浅田 純子、若園 吉裕



最近、人工呼吸管理を必要とした早期乳児感染症2例を経験したので報告します。

1例は細菌性髄膜炎症例であり、もう1例は尿路感染症より敗血症への進行が疑われている症例です。ともに発熱を主訴として近医より紹介入院となりました。2例とも入院時のデータは軽度の異常のみでしたが、全身状態は不良でその後の進行も早く人工呼吸管理を必要としました。両症例とも抗生剤投与等にて抜管後に略治退院となりま

したが、細菌性髄膜炎児は軽度の発達障害を認めています。

また、この一年間に本院に入院した早期乳児（生後4ヶ月以下）の感染例の集計もあわせて報告させていただきます。早期乳児の感染全例が入院時に採血検査の著明な異常を示さず、全身状態などの症状が早期発見の鍵となることが示唆されました。